

出土品264点 県宝指定諮問へ

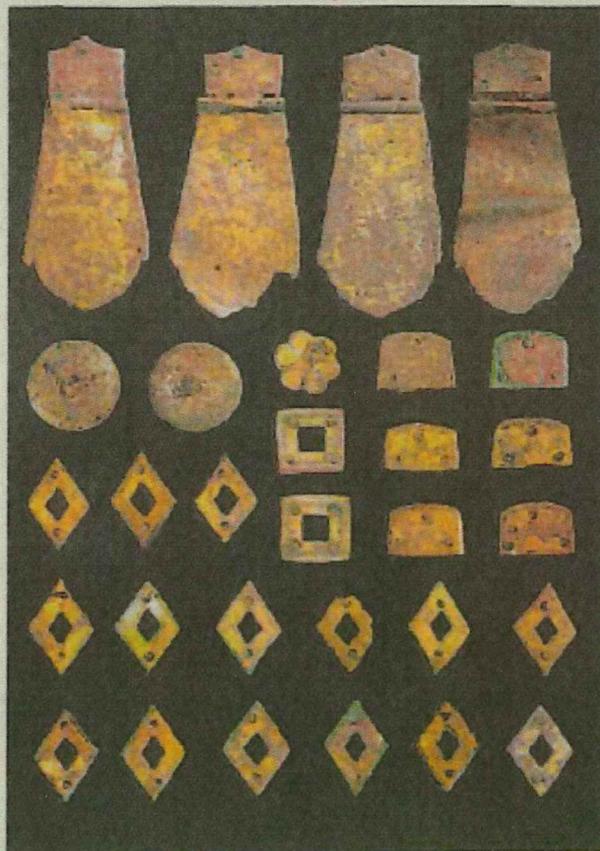
佐久の東一本柳古墳 馬具など

県教委は20日、佐久市岩村田の東一本柳古墳の出土品264点を県宝に指定することについて、県文化財保護審議会に諮問すると決めた。

同古墳は湯川を南に望む台地上にあり、7世紀前半に造られた。264点の出土品は副葬品で、くつわや飾り金具といった馬具、刀装具、勾玉

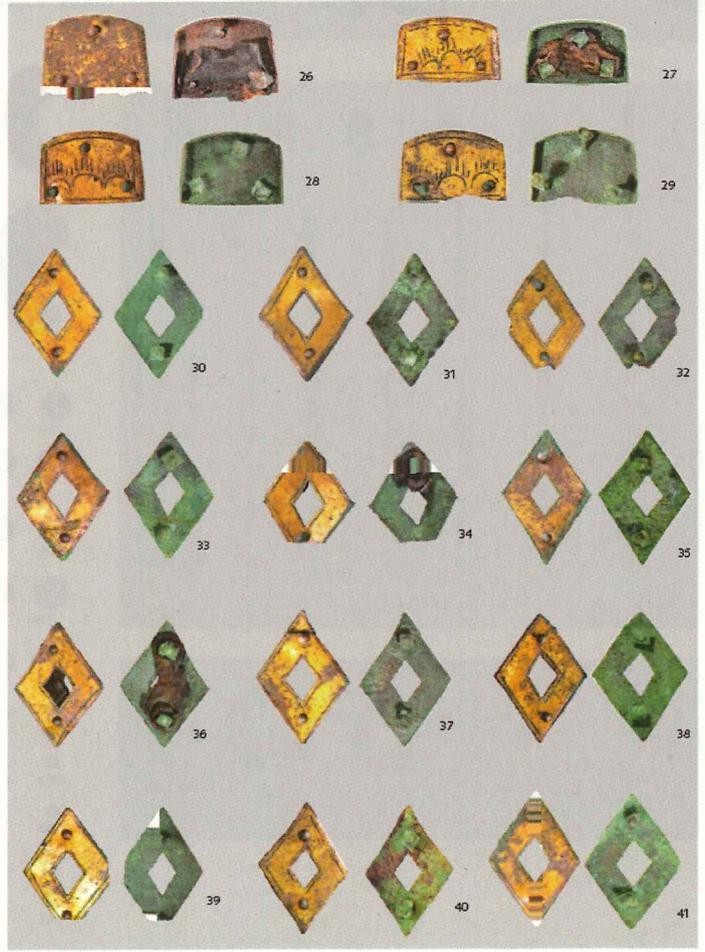
などがある。馬具は模様を彫り込んだ銅に金メッキを施しており、県教委によると飛鳥寺（奈良県明日香村）や法隆寺（同斑鳩町）の本尊を手掛けた仏師、鞍作止利の作風の影響がうかがわれるという。

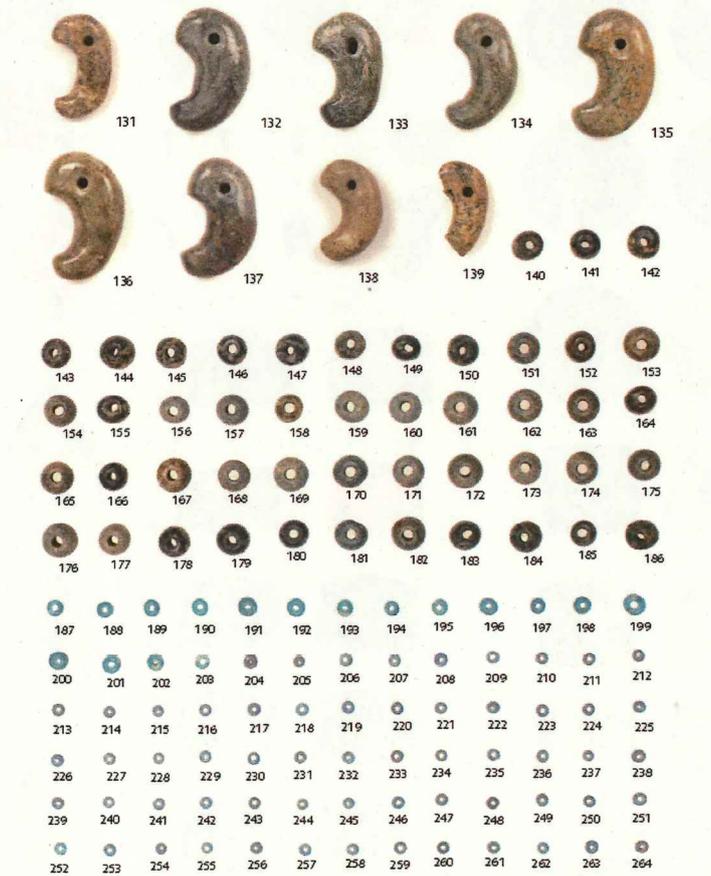
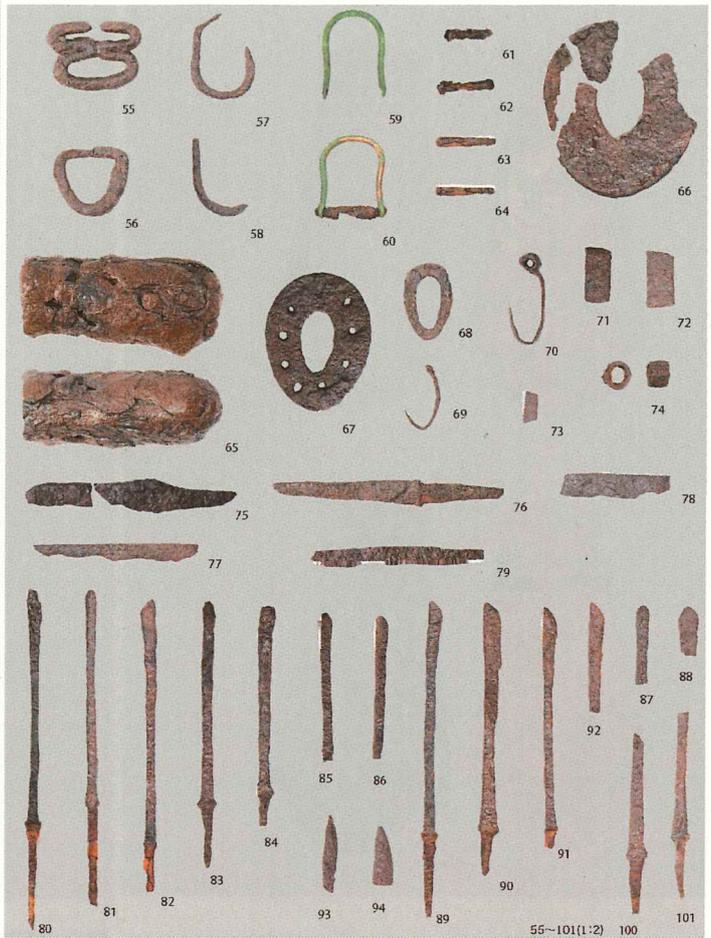
同様の馬具は、県内で他に5例見つかっているが、これ



東一本柳古墳出土品（佐久市教育委員会提供）

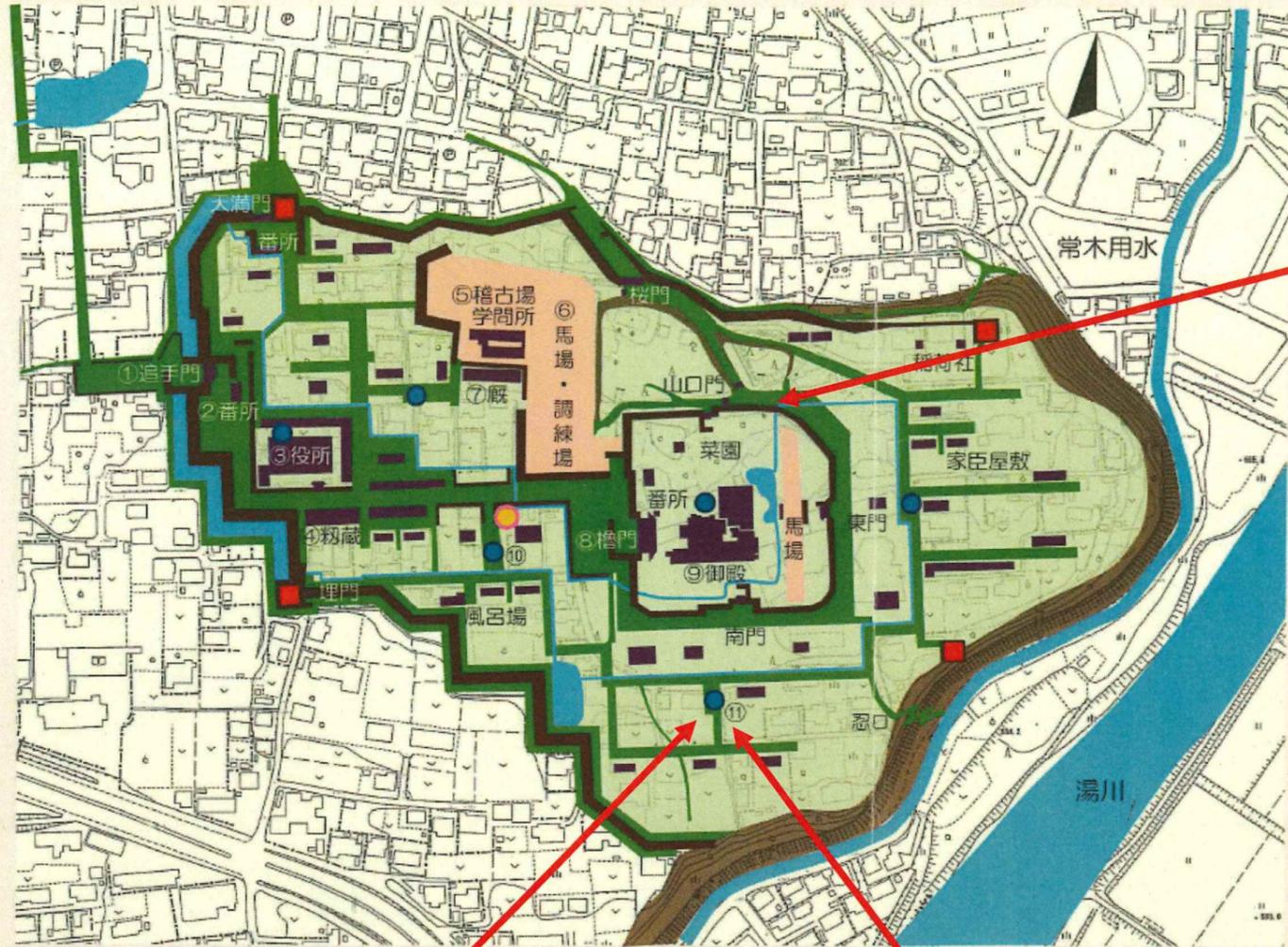
らはいずれも部品が単体で出土したのに対し、同古墳では複数の部品が一緒に見つかった点で珍しい。古墳時代後期から奈良時代までの間、佐久地域で馬の生産が盛んだったことを伝える文化財として貴重という。





藤ヶ城(岩村田城)

至 岩村田宿



岩村田御新城分間縮図(個人蔵)を参考に復元描写

現在位置 ● 通路 + 堀・水路 〓 土塁 〰 井戸 ● 砲台 ■ 建物 ■

おうてもん せいもん おおてもん
 ① 追手門 城の正門、「大手門」と同じ



やぐらもん にかいだ
 ⑧ 櫓門 二階建ての門



ばんしよ けいび
 ② 番所 警備の人がいる所

やくしよ かしん こうむ
 ③ 役所 家臣が公務を行う所

もみぐら こめ そうこ
 ④ 粃蔵 米の倉庫

けいこば がくもんじよ
 ⑤ 稽古場・学問所
 けんじゆつ けいこ べんきよ
 剣術の稽古や勉強をする所

ばば ちようれんじよ
 ⑥ 馬場・訓練場
 てっぽう ばじゆつ くんれん
 鉄砲や馬術を訓練する所

うまや うまこや
 ⑦ 厩 馬小屋

ごてん じよしゆ やしき
 ⑨ 御殿 城主の住む屋敷

うつ まえ いど
 ⑩ 移される前の井戸

げんさい のこ いど
 ⑪ 現在も残っている井戸



佐久市教育委員会 平成30年設置



重要文化財旧中込学校校舎保存修理（災害復旧）について

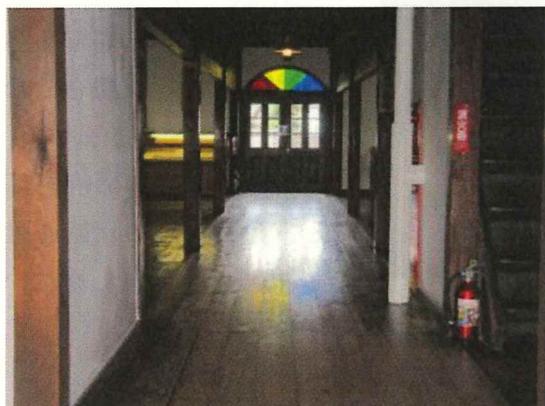
旧中込学校校舎は、令和元年東日本台風（台風第19号）により、外壁の一部崩落及び亀裂等の被害を受けました。

現在、復旧のため国（文化庁）及び長野県から補助金の交付を受け修理を行っています。

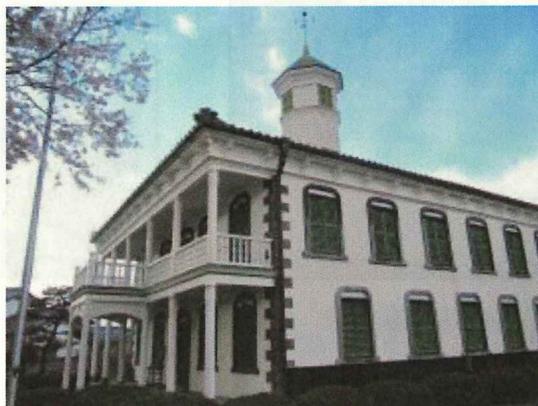
重要文化財旧中込学校校舎の概要

旧中込学校は、明治8年（1875）に建築されました。現在、日本に残っている擬洋風学校（日本人が洋風の建物を見本にして建てた学校）の中で、最も古いものの一つに数えられています。その貴重さが評価されて、昭和44年（1969）に重要文化財に指定されました。また、校舎が建っている場所が明治8年から変わっていないことから、国史跡にも指定されています。

旧中込学校が現在の場所に建てられる前は、近くにある小林寺の敷地に「成知学校」と呼ばれる学校がありました。成知学校は、明治6年（1873）9月に地元の下中込村と、隣の今井村と三河田村の3つの村が協力して建てた学校です。ところが、このまま小林寺の敷地を借りたままでは良くないということで、明治7年10月に校舎新築が決定し、明治8年12月に校舎が完成しました。そして明治9年から「中込学校」と呼ばれるようになりました。



1階廊下奥に当時では珍しいステンドグラスが見えます
（ステンドグラスはレプリカです）

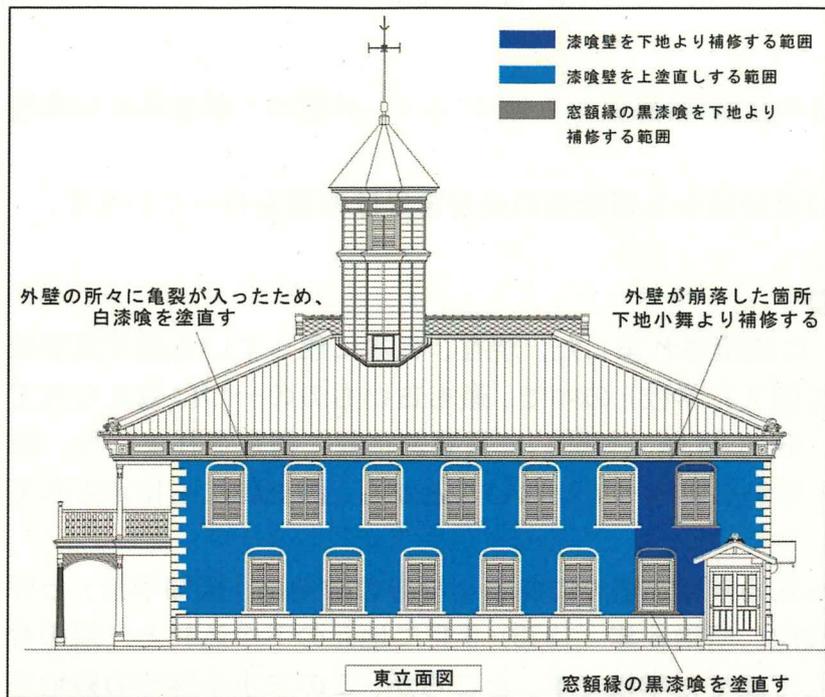


近くから校舎を見上げる

旧中込学校校舎保存修理（災害復旧）事業の概要

建 築 年	明治8年（1875年）
所 在 地	佐久市中込 1877番地
修 理 期 間	令和2年4月24日～令和3年1月29日
事 業 者	佐久市教育委員会
設 計 監 理	公益財団法人文化財建造物保存技術協会
施 工	北野建設株式会社

破損状況



上の写真は被害が一番大きい外壁の崩落部分です。現在足場が設置してある3面について多くの亀裂が発生し、漆喰に浮きが生じている状況です。

修理概要



小舞修繕実施状況



1回目の荒壁塗後の状況

現在、外壁の崩落部分の小舞の修繕を行い、荒壁を塗っています。今後、乾燥させながら塗り重ねていきます。

また、全体の漆喰を落とし、亀裂内部の状態を確認し、漆喰の塗り直しを行います。

文化財建造物の保存修理について

文化財建造物は、地域の歴史や文化を今に伝える貴重な財産です。

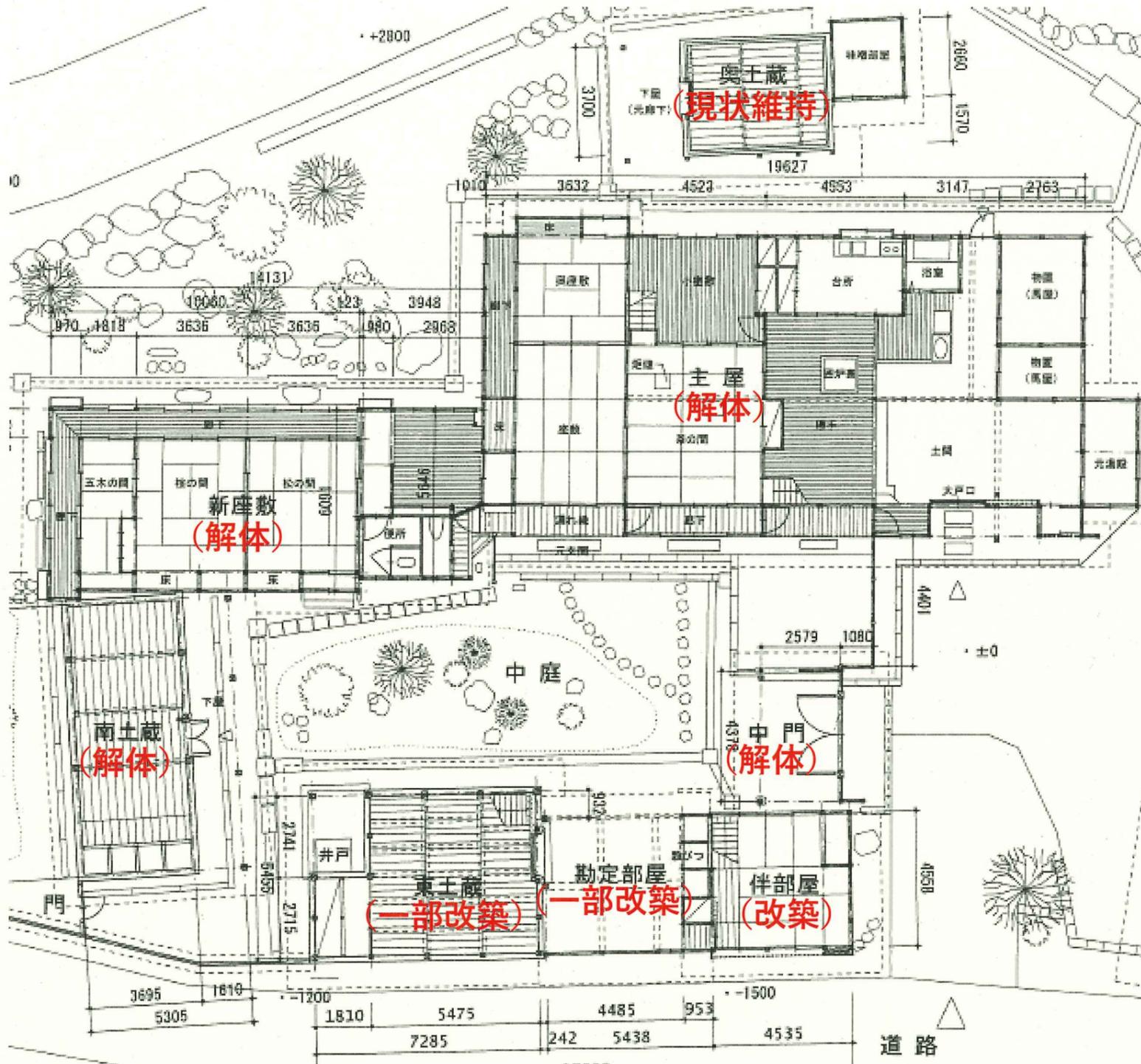
多くの建造物は常に風雨や雪等にさらされ損傷や老朽化を避けられませんが、保存修理を繰り返し行うことで、よりよい状態で後世に伝えていくことができます。

今回は、被災箇所について国(文化庁)に認めていただき、災害復旧として実施しております。

期間中ご迷惑をおかけしますが、皆様のご理解とご協力をお願いします。

このリーフレットは、国の補助事業である「重要文化財旧中込学校校舎保存修理(災害復旧)事業」の修理概要を紹介する情報発信の一環として作成された資料です。

国登録有形文化財「佐藤家住宅」の現状変更について



○解体…主屋・新座敷・南土蔵・中門→文化庁へ現状変更届出済み。

○改築…伴部屋・勘定部屋・東土蔵

→通常望見できる範囲の4分の1を超える変更である伴部屋のみ、文化庁へ現状変更届出済み。

→勘定部屋・東土蔵は届出不要。

○現状維持…奥土蔵

※令和2年10月から工事開始予定。令和4年3月工事終了予定。

→工事後、解体建物は登録抹消。改築建物は引き続き登録予定。



左から南土蔵・東土蔵・勘定部屋・伴部屋



左から伴部屋・中門・主屋



左から中門・主屋



左から主屋・新座敷・南土蔵